

曾我の里散策コース(里コース)

霊峰富士を背景に、のどかな梅の里を散策しよう!



歩いて、未病を改善!
神奈川県・県西地域ウォーキング 小田原市 No.10

「#県西ウォーキング」でSNSに
写真や感想をアップしよう♪



アクセス

Sスタート JR御殿場線「下曾我駅」

Gゴール JR御殿場線「下曾我駅」

※コース詳細は小田原市ホームページをご参照ください。
<https://www.city.odawara.kanagawa.jp/kanko/walking>

歩行距離	歩行時間	消費カロリー
5.5km	1時間20分	233kcal
高低差	歩数	
35m	7,190歩	

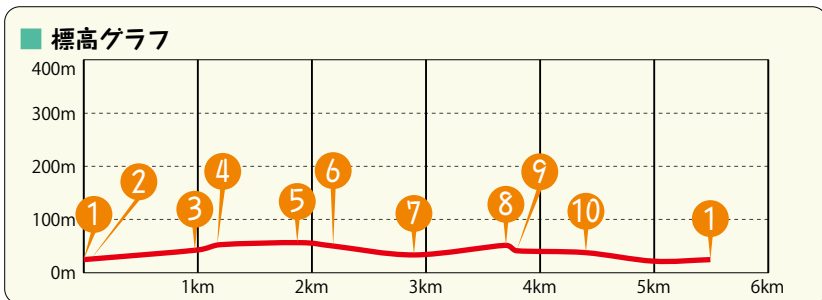
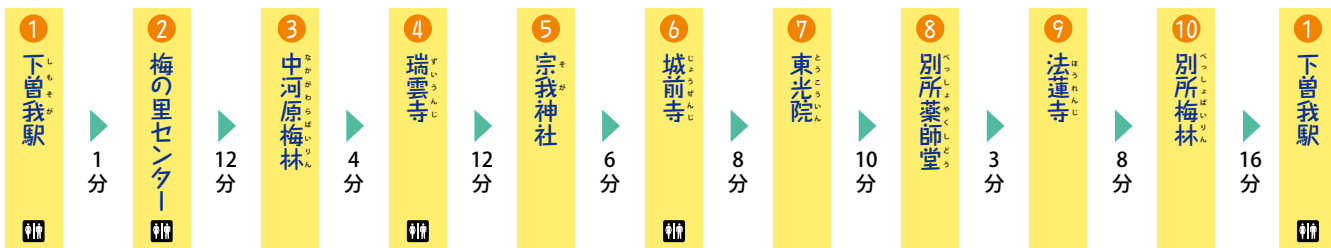


コースの魅力

【花木】曾我梅林の梅(1月下旬~3月上旬)

【歴史】瑞雲寺、宗我神社、城前寺、東光院、別所薬師堂、法蓮寺

【★選】曾我梅林(かながわの景勝50選)



コースの概要

下曾我駅をスタート、曾我兄弟ゆかりのスポットや「曾我梅林」、由緒ある神社仏閣などをめぐり、下曾我駅に戻るコースです。おすすめはやはり梅の時期(2月頃)。富士山や箱根の山々を背景に咲き誇る梅の姿も見事ですが、ただよふ香りに春の訪れを感じるお散歩エリアです。また、みかんの産地でもあり、見るにつけ買うにつけ、歩く楽しみのひとつです。

小田原といえば梅!

梅の里センター

小田原特産の梅を生かした農業振興と地域の活性化を目指した「梅の里づくり」事業。その中心として建設されたこの施設では、梅干しをはじめ梅を使った製品、パネル展示などで梅の里を紹介しています。



【住】小田原市曾我別所807-17 【電】0465-42-5321 【営】9:00~17:00(夜間利用者がいる場合は21:30) 【入】使用場所、使用時間による 【休】12月29日~1月3日 【HP】<https://umenosatocenter.info/>

歌舞伎や浮世絵でおなじみの

曾我の傘焼きまつり

毎年5月に、梅の里センター及びその周辺では、曾我兄弟の仇討ちの故事にちなんだ「曾我の傘焼きまつり」が行われます。曾我物語は仇討ち物として歌舞伎狂言では古くから人気があり、曾我物語を演じた役者の浮世絵も多く残っています。



※歩行距離と歩行時間は、小田原市のデータを参照。 ※高低差、標高グラフは、国土地理院の地図データを参照。消費カロリー、歩数は、「成人男性：身長170cm、体重68kg」をモデルに計算。(元となる標高データの精度や計算方法による誤差が含まれています)。 ※各数値は、あくまで目安であり、年齢や体格、歩くスピードなどにより大きく変わることがあります。

※掲載情報は、令和6年2月現在のものです。



ウォーキング MAP



- ルールとアドバイス**
- 1 ゴミは必ず持ち帰りましょう
 - 2 植物・鳥・動物・虫などの採取・捕獲は絶対にやめましょう
 - 3 自分に合った歩きやすい靴をはきましょう
 - 4 水分の補給をこまめにしましょう

コラム なぜ小田原の梅干しづくりは盛んになったのか？

小田原の梅の歴史は古く、小田原北条氏の時代、軍用に供するため梅干しづくりが推奨され、発展したといわれます。市内ではいまでも漬け込み業が盛んです。粒は大粒で、軟らかくて肉厚、しかも出来上がりが優美と評価が高い小田原の梅干し。

市の北東部、丘陵地帯の下曾我地区にある「曾我梅林」には、この梅干しの材料となる「十郎」、梅酒用「白加賀」を中心に約3万5千本が植えられています。樹齢は長いもので数百年のものまであり、「梅の里」と呼ばれるにふさわしい景観を見せています。

小田原で梅干しが盛んになったのは、良質な梅に恵まれていたことと同時に、漬け込みに必要な大量の塩を相模湾の塩田から容易に手に入れることができたから。さらに、小田原は温暖な気候に恵まれ、明治時代から保養地として多くの人々が訪れたことも拍車をかけました。曾我梅林では毎年2月には「梅まつり」が行われ、梅の甘い香りを求めて、散策に訪れる人々は県内外から後を絶ちません。色とりどりの梅の花が一面に咲き誇る光景は、まばゆいばかりです。



曾我梅林から望む富士山

